

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

北海道議会 民進党・道民連合議員会 会派の幹事長に就任

会派のかなめ役に

道議会は、4年間の任期のうち前期後期で議会や委員会、会派役員を交代することが慣例となっています。北口道議は前期には、医



民進党・道民連合議員会の幹事長に就任(6月6日から)

定数見直しが課題

現在北海道は、人口減少

師確保をはじめとする地域医療などを議論する保健福祉委員長として、地域医療の充実に努力しました。そして後期では、民進党・道民連合議員会(26名)のかなめ役である幹事長に就任しました。

「受動喫煙防止条例」 制定に向け、検討中

日本人は、2人に1人が癌に罹り、3人に1人が癌で亡くなっています。

特に北海道は、肺がんでの死亡率が全国一となっており、都道府県トップの喫煙率が要因ともいわれています。

このことから、道議会議員全員で構成する「がん対策議員の会」では、受動喫煙防止のための条例制定に向けた検討を開始し、関係団体との意見交換会を実施しました。

北口道議は、保健福祉委員長を担当していたこともあり、受動喫煙防止条例検討委員会の副委員長として、議員提案の条例制定に向け、中心的役割を担っています。

や高齢化、地域の過疎対策、JR北海道の路線維持問題や空港の民営化など、課題が山積しています。

さらに後期の任期中には、現在101名の北海道議会の議員定数の見直し問題があり、人口減少と地域の過疎という課題の中で、道議会議員の定数をどう決めていくか、会派間の調整が重要になってきます。

水林と総合交通に

また北口道議は、水産林務委員会に所属。特別委員

正副議長も交代

会は、JR北海道の路線維持問題や7つの空港を一括民間委託などを議論する新幹線・総合交通対策特別委員会に所属することになりました。

また、正副議長も新しく選出され、議長には第一会派である自民党・道民会議から大谷亨氏(十勝地域)、副議長には第二会派である民進党・道民連合の勝部賢志氏(江別市)がそれぞれ選出されました。

第2回定例道議会報告(6月20日~7月7日)

第2回定例会は、会期を7月7日までの18日間として、6月20日に開会しました。

今議会は、後期への折り返し議会となることから、正副議長が辞職し、議長には大谷亨氏(十勝地域)、副議長には勝部賢志氏が就任しました。

また、議会開会の前日には、提案議案等を事前に説明を聴取する前日委員会が開催され、保健福祉部提出

の補正予算の内容などについて説明を受けました。

その後、今回の委員会で保健福祉委員長を辞任することから、退任挨拶をさせていただきます。

代表格質問に沖田氏

わが会派の代表格質問には、沖田清志道議(苫小牧市)が登壇し、今議会での最大の課題であるJR北海道の路線維持問題をはじめ、地方自治体の基金のあり方



保健福祉委員長として退任挨拶(6月19日)

消極的な国への要望

JR北海道の路線維持問題で、沿線の市町村長から「北海道のリーダーである知事が先頭に立ち、国への支援を求めるべき」との声に対し知事は、「引き続き国に対し強く求める」との答弁はしたものの、路線のあり方については、「有識者のご意見を頂きながら、鉄道網を含めた交通ネットワークのあり方の議論を深め、主体的に取り組む」との答弁にとどまり、すべての路線を維持したい地域との温度差が際立っています。

株主の発言に怒り

JR問題は、国策の失敗

です。分割民営の方法に問題があったのであり、オール北海道で国に対する支援を求める必要があります。

一方、JR北海道の唯一の株主である鉄道建設・運輸施設整備支援機構の理事長は株主総会の席上、「路線見直しについては、着実に進めてほしい」との注文をつけました。この発言は、北海道民の思いを無視して見直しを進めることを求めていると、北海道の現状や課題を理解しない発言に、強い批判が寄せられています。

日欧EPAで意見書

日本と欧州連合(EU)との経済連携協定が、7月上旬にも大筋合意に至るのではないかとの情報に対し、緊急を要する課題として、6月28日の本会議において、乳製品や豚肉を含む重要品目への必要な措置及び国民への情報提供と丁寧な説明を求める意見書を全会一致で採択し、関係省庁へ送付しました。

補正に70.5億円

今議会に提案された補正予算の総額は70億5千万円。主なものとしては、産地パワーアップ事業費として37億2千万円、漁港の施設改修に3億9千万円。新規事業としては、若者の移住を促す事業費として2600万円、働き方改革を取り組む中小企業を支援するため2千万円を充てるものです。

第2回定例会で可決された補正予算

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
既決予算額	2,753,402,195	647,952,358	3,401,354,553
今回補正額	7,048,525	890,888	7,939,413
合計	2,760,450,720	648,843,246	3,409,293,966



きたごりんファームでの田植え作業(5月20日)



士別消費者協会定期総会で挨拶(4月10日)



士別市シルバー人材センター定時総会(5月31日)



わんぱくフェスティバルで献眼登録奉仕(5月21日)



朝日水力発電所建設促進期成会総会(6月5日)



朝日水力発電所建設で道企業局に要請(6月1日)



ロナルド・グリーン在札幌豪州領事ご夫妻(6月26日)



クラシノソコアゲ街宣活動に同行(6月3-4日)



旭岳を登山(5月4日)



下川山岳会で下川町内の剣山を登山(4月2日)

写真で振り返る北口道議の活動記録(4月~6月)

北口ゆうこう奮闘日記

<http://y-kiaguchinet/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(4月～6月分)

◆4月28日【士別森林組合総会】



士別地区森林組合通常総会で挨拶

西義光代表理事(組合長)の通常総会に出席し、森林環境税(仮称)の導入や林業・林業の開設に向けた取り組みについてご挨拶した。また、上川管内の森づくりコンクールの優秀賞には、士別市温根別町の高橋文枝さんが受賞された。

◆5月2日【受動喫煙防止条

例&富良野メーデー】今日、道議会の超党派で構成されている受動喫煙防止条例検討委員会に出席し、条例の内容等について協議してきた▼また夜には、第88回富良野地区メーデー集会



富良野地区メーデー集会で挨拶

(猪股俊弘実行委員長)に参加。集会で猪股実行委員長は、「メーデーは労働者の祭典。私たちの労働環境を改善するには政治闘争は欠かせない。共謀罪を廃案に追い込み、働くことを軸とする安心社会を勝ち取ろう」とご挨拶された▼その後、佐々木隆博代議士と私にも挨拶の機会をいただき、戦前の治安維持法による逮捕の実態についてお話しさ

せていただいたところだ。

◆5月28日【富良野地区森林組合総代会】

富良野地区森林組合(和田昭彦組合長)の通常総代会に出席。和田組合長は、「地方創生の力ぎは森林資源をいかに活用するかだ。森林を木材として、燃料として、さまざまな活用で地方創生を図っていきたい」と挨拶▼また私からは、森林環境税(仮称)や北海道が検討している森林大学校についてお話ししたところだ。



富良野地区森林組合総代会で挨拶

◆6月1日【道庁及び台北駐日経済文化代表処】▼牧野勇司士別市長とともに、士別市の課題であるホスト構想、甜菜振興、医師確保、朝日

水力発電所の建設などについて、北海道庁の各部を訪問し、要請及び意見交換を行った▼その後、台北駐日



牧野市長と周學佑台北札幌分処長を訪問

経済文化代表処札幌分処の周學佑処長を訪問し、台湾との経済や文化、スポーツ交流について意見交換させていただいたところだ。

◆6月13日【北海道民生委員児童委員大会】

民生委員制度創設100周年記念「北海道民生委員児童委員大会」が札幌市内で開催され、北海道議会を代表して挨拶してきた▼北海道民生委員児童委員大会には、全道各地から2000名の皆さんが参加。冒頭、永年勤続者1463名に感謝状が贈呈さ



北海道民生委員児童委員大会で挨拶

れ、「誰もが人らしい生活を営むことができる地域づくり」を確認したところだ。

【つぶやき】

▼東京都議会議員の結果が出た。小池知事が率いる都民ファーストの会が圧勝し、自民党は過去最低の23議席に止まった▼これは、共謀罪の強行採決や森友・加計問題、閣僚の失言などが影響したのだろう▼政治は緊張感が必要だ。国民をなめてはいけない。政治とは、常に謙虚に、常に誠実に向き合わなければ、国民から一気に「NO」を突きつけられる▼私も3期目折り返しになった。道民目線で、常に謙虚に、道民の声を道政に届ける役目をしっかり果たそう。(ゆうこう)